



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 さくらインターネット株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3778 URL <https://www.sakura.ad.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高(氏名) 田中 邦裕  
経営責任者  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 川田 正貴 TEL 06-6476-8790  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	21,397	36.6	2,585	476.3	2,488	678.3	1,642	440.2
2024年3月期第3四半期	15,658	4.1	448	△35.4	319	△48.1	304	△27.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,583百万円(314.8%) 2024年3月期第3四半期 381百万円(△8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	42.40	—
2024年3月期第3四半期	8.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	77,092	28,908	37.3
2024年3月期	30,224	9,321	30.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 28,720百万円 2024年3月期 9,135百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	42.0	3,400	284.4	3,250	325.3	2,100	222.2	53.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 株式会社Tellus 、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (重要な連結範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	41,890,700株	2024年3月期	37,620,700株
2025年3月期3Q	1,889,858株	2024年3月期	1,911,842株
2025年3月期3Q	38,734,550株	2024年3月期3Q	35,692,543株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている今後の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算説明資料は2025年1月31日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な連結範囲の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気の緩やかな回復が続くことが期待されますが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当社グループの属するクラウド・インターネットインフラ市場は、デジタルトランスフォーメーションが進むなか、すべての企業で第3のプラットフォーム（クラウド、モビリティ、ビッグデータ、ソーシャル技術）の利用が加速し、企業ITインフラのクラウドへの移行の本格化が予想されており、当社グループの属する市場は、国産パブリッククラウドへの期待も高まっているなかで、今後も拡大が継続すると見込んでおります。

こうした状況のもと、当社グループはシステムインテグレーションから開発、インターネットインフラサービスの提供、保守、運用、お客様サポート等をグループ内においてワンストップで提供することで、お客様の「やりたいこと」の実現を支援することを目指しております。現在の48万を超える顧客と新たな顧客にとってのカスタマーサクセスの実現に注力することで、今後も高い市場成長が見込まれるクラウドサービスの拡大に注力しております。

売上高につきましては、2024年1月からサービス提供を開始したGPUクラウドサービス売上の計上及びクラウドサービス売上の順調な成長等により、21,397,057千円(前年同期比36.6%増)となりました。

営業利益につきましては、クラウドサービスの機能開発強化の一層の加速や販売促進に向けた人材採用・マーケティング強化等の投資の積極的な実施等による費用の増加がありましたが、売上の増加により、2,585,417千円(前年同期比476.3%増)となりました。

経常利益につきましては、公募による新株発行に伴う株式交付費を計上いたしましたが、営業利益の増加により、2,488,466千円(前年同期比678.3%増)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加などにより、1,642,271千円(前年同期比440.2%増)となりました。

サービスカテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。なお、第1四半期連結会計期間より、2024年1月からサービス提供を開始したGPUクラウドサービスを新しくサービスカテゴリーとして追加しております。

## ① クラウドサービス

さくらのクラウド、さくらのVPSの売上が順調に推移したこと等から、クラウドサービスの売上高は10,356,809千円(前年同期比9.6%増)となりました。

## ② 物理基盤サービス

専用サーバサービスの利用増加等により、物理基盤サービスの売上高は2,799,000千円(前年同期比4.1%増)となりました。

③ GPUクラウドサービス

GPUクラウドサービスは「高火力PHY」を2024年1月から一部サービス提供を開始し、2024年6月から本格提供を開始しており、GPUクラウドサービスの売上高は3,747,005千円となりました。

④ その他サービス

グループ会社売上の増加等により、その他サービスの売上高は4,494,242千円(前年同期比27.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ46,867,854千円増加し、77,092,301千円(前連結会計年度末比155.1%増)となりました。主な要因は、公募増資による新株発行に伴う現金及び預金の増加、GPUクラウドサービス等向けのサービス機材調達による有形固定資産の増加等によるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ27,280,525千円増加し、48,183,763千円(前連結会計年度末比130.5%増)となりました。主な要因は、サービス機材に係る借入金、設備関係未払金の増加等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ19,587,328千円増加し、28,908,537千円(前連結会計年度末比210.1%増)となりました。主な要因は、公募増資による新株発行に伴う資本金、資本剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2024年9月30日公表の「GPUクラウドサービスへの追加投資に関するお知らせ」に記載のとおり、旺盛なAI開発需要を背景にGPUクラウドサービスにかかるGPU基盤の早期整備に向けて「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」800基の追加投資を行い2024年12月よりサービス提供を開始いたしました。本サービス提供開始による減価償却費、電力費等の増加や第4四半期での来期以降の中長期的な成長に向けた営業・マーケティング及び社員モチベーション向上施策等を実施の一方で、当期の重点施策である生成AI向けGPU基盤の早期提供とクラウドサービスの強化により、付加価値の高いサービスの売上が増加見込みであること等から、2025年3月期の通期連結業績予想を上方修正することといたしました。

詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,257,805	39,484,407
受取手形、売掛金及び契約資産	3,241,165	3,059,148
商品及び製品	16,747	94,499
仕掛品	—	43,541
貯蔵品	508,314	456,872
その他	1,564,390	3,621,144
貸倒引当金	△14,223	△15,570
流動資産合計	10,574,200	46,744,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,369,459	6,388,719
工具、器具及び備品（純額）	2,764,895	9,530,291
リース資産（純額）	6,841,909	7,096,276
その他（純額）	680,429	2,865,756
有形固定資産合計	16,656,693	25,881,043
無形固定資産		
その他	505,262	942,653
無形固定資産合計	505,262	942,653
投資その他の資産		
その他	2,493,775	3,529,863
貸倒引当金	△5,484	△5,304
投資その他の資産合計	2,488,291	3,524,559
固定資産合計	19,650,247	30,348,256
資産合計	30,224,447	77,092,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	628,323	735,583
短期借入金	417,668	9,089,167
1年内返済予定の長期借入金	740,210	562,432
未払法人税等	204,779	917,793
前受金	4,984,218	7,182,219
賞与引当金	451,171	279,817
役員賞与引当金	4,500	—
その他	3,167,494	16,668,136
流動負債合計	10,598,366	35,435,150
固定負債		
長期借入金	3,617,408	5,877,442
リース債務	5,935,858	6,100,006
資産除去債務	683,136	684,826
株式給付引当金	59,329	82,229
その他	9,139	4,108
固定負債合計	10,304,872	12,748,613
負債合計	20,903,238	48,183,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,256,921	11,283,167
資本剰余金	1,478,896	10,577,023
利益剰余金	6,372,974	7,882,500
自己株式	△1,119,643	△1,107,080
株主資本合計	8,989,147	28,635,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,781	63,820
為替換算調整勘定	11,890	13,742
繰延ヘッジ損益	183	7,105
その他の包括利益累計額合計	145,855	84,669
非支配株主持分	186,206	188,257
純資産合計	9,321,209	28,908,537
負債純資産合計	30,224,447	77,092,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	15,658,998	21,397,057
売上原価	11,633,851	14,081,549
売上総利益	4,025,146	7,315,507
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,574	1,661
給料及び手当	1,186,845	1,575,035
賞与引当金繰入額	96,041	111,587
その他	2,292,100	3,041,805
販売費及び一般管理費合計	3,576,562	4,730,090
営業利益	448,584	2,585,417
営業外収益		
受取利息	31	2,807
持分法による投資利益	—	19,571
貸倒引当金戻入額	444	493
補助金収入	6,943	96,948
その他	40,016	85,001
営業外収益合計	47,436	204,822
営業外費用		
株式交付費	1,459	109,528
支払利息	128,380	177,470
持分法による投資損失	7,041	—
その他	39,407	14,774
営業外費用合計	176,288	301,773
経常利益	319,732	2,488,466
特別利益		
固定資産売却益	5,868	347
投資有価証券売却益	61,318	—
国庫補助金等収入	—	5,332,444
特別利益合計	67,186	5,332,791
特別損失		
固定資産除却損	1,349	9,492
投資有価証券評価損	—	29,999
リース解約損	114	—
固定資産圧縮損	—	5,331,971
特別損失合計	1,463	5,371,463
税金等調整前四半期純利益	385,454	2,449,793
法人税、住民税及び事業税	124,028	931,981
法人税等調整額	△20,106	△126,510
法人税等合計	103,921	805,471
四半期純利益	281,533	1,644,322
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,471	2,050
親会社株主に帰属する四半期純利益	304,004	1,642,271

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	281,533	1,644,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	91,105	△72,574
繰延ヘッジ損益	182	6,922
為替換算調整勘定	2,609	1,852
持分法適用会社に対する持分相当額	6,255	2,613
その他の包括利益合計	100,153	△61,185
四半期包括利益	381,686	1,583,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,158	1,581,086
非支配株主に係る四半期包括利益	△22,471	2,050

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社は、2024年6月5日開催の取締役会決議に基づき、公募による新株発行(一般公募)を行いました。2024年6月21日を払込期日とする公募による4,270,000株の新株発行により、資本金及び資本剰余金が9,026,246千円ずつ増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が11,283,167千円、資本剰余金が10,577,023千円となっております。

(重要な連結範囲の変更)

従来、非連結子会社であった株式会社Tellusに対し、2024年4月1日付で増資払込を行ったことに伴い、重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、インターネットインフラ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,261,327千円	3,291,665千円
のれんの償却額	2,919千円	－千円